

第2回 最上小国川流域環境保全協議会

今後の環境調査計画

今後の環境調査計画を立てる上で 考慮すべき事項

ダム事業及び関連する河川事業を実施することにより生じる可能性のある環境影響を予測することを目的として、これを実施するために必要となる調査のうち、既往の調査では不足する調査、及び継続したデータの蓄積が必要な調査を対象とする

環境に関する調査メニュー

環境に関する調査メニュー

		平成21年度	備考
大気環境	大気質（粉塵） 騒音 振動	○ — —	※必要に応じ 次年度以降も 継続して調査 を実施する予 定
水環境	水質（濁水・水温等）	○	
動 物（重要な種・注目すべき生息地）		○	
植 物（重要な種・群落）			
生 態 系（地域を特徴づける生態系）			
景 観		—	
人と自然との触れ合い活動の場		—	

大氣環境

調査計画の概要

平成21年度以降の調査計画

項目		調査地点	調査時期
大気質	降下ばいじん量	赤倉集落 (赤倉小学校)	春、夏

大気環境



大気環境調査地点位置図

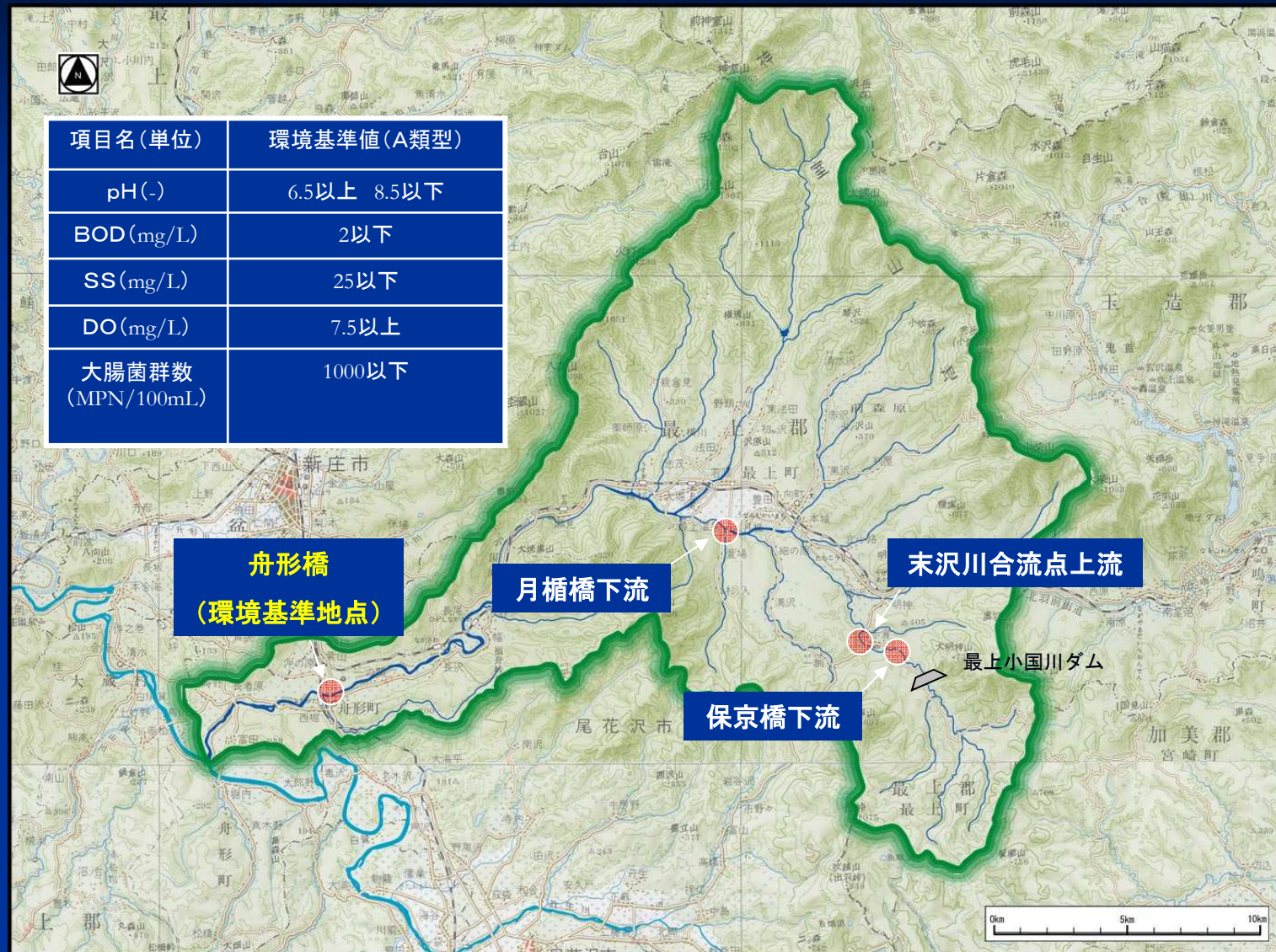
水 環 境

調査計画の概要

平成21年度以降の調査計画

項目		調査地点	調査時期
平常時	・生活環境項目 ・健康項目 ・富栄養化関連項目 ・その他	3地点程度	原則月1回
出水時	・生活環境項目 ・富栄養化関連項目 ・その他	3地点程度	時間1回

水環境



水環境調査地点位置図(例)

動 植 物

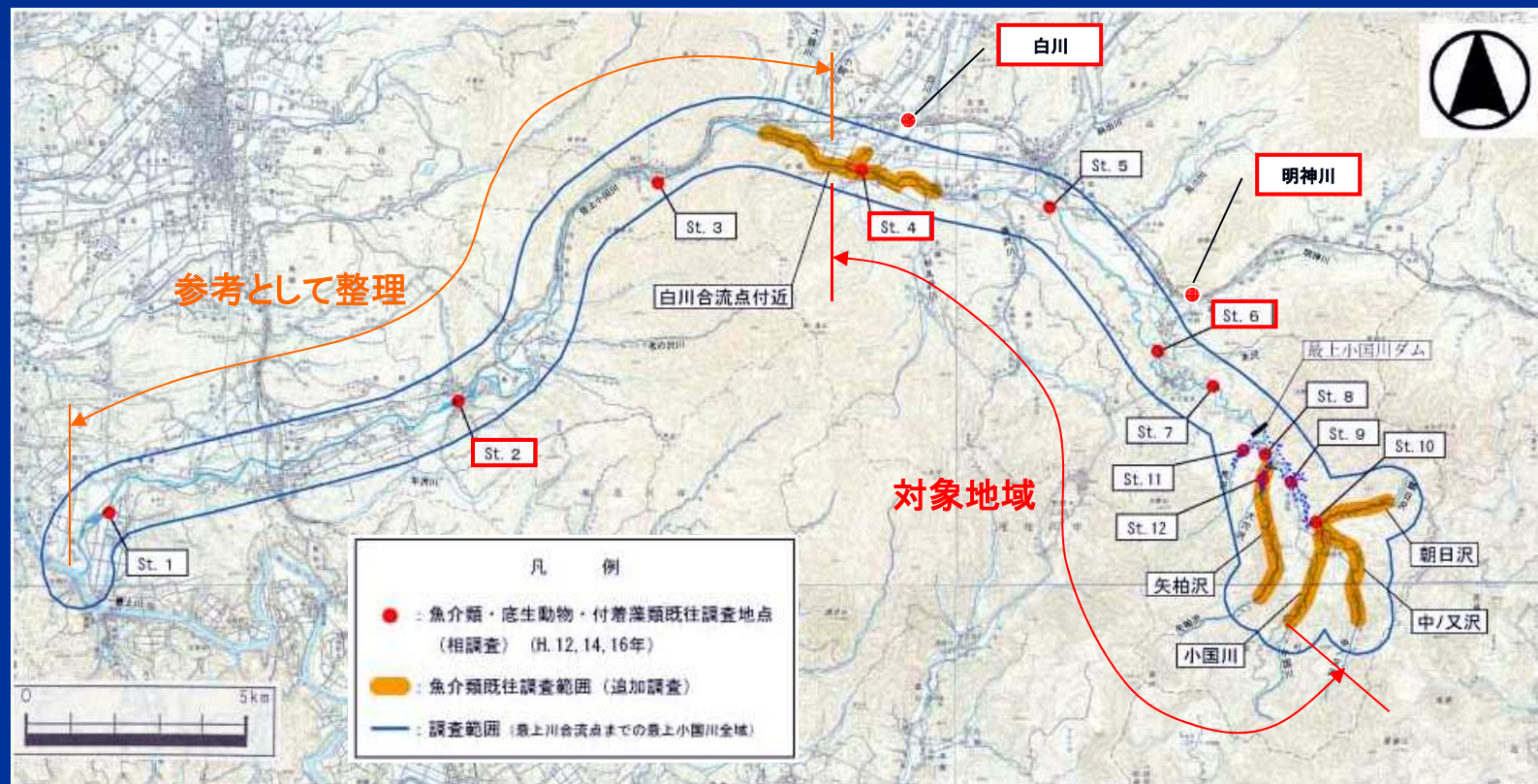
調査計画の概要

平成21年度の調査内容

目的	地点数	調査月	備考
付着藻類の状況確認	5定点	6, 7, 8, 9, 10月 洪水後調査(直後、 1週間後)	対照地点を2地点とする (アユ生息量の多い区間 の対照地点を追加)

付着藻類の調査地点

St.2、4、6、白川(比較対照区)及び明神川(比較対照区)



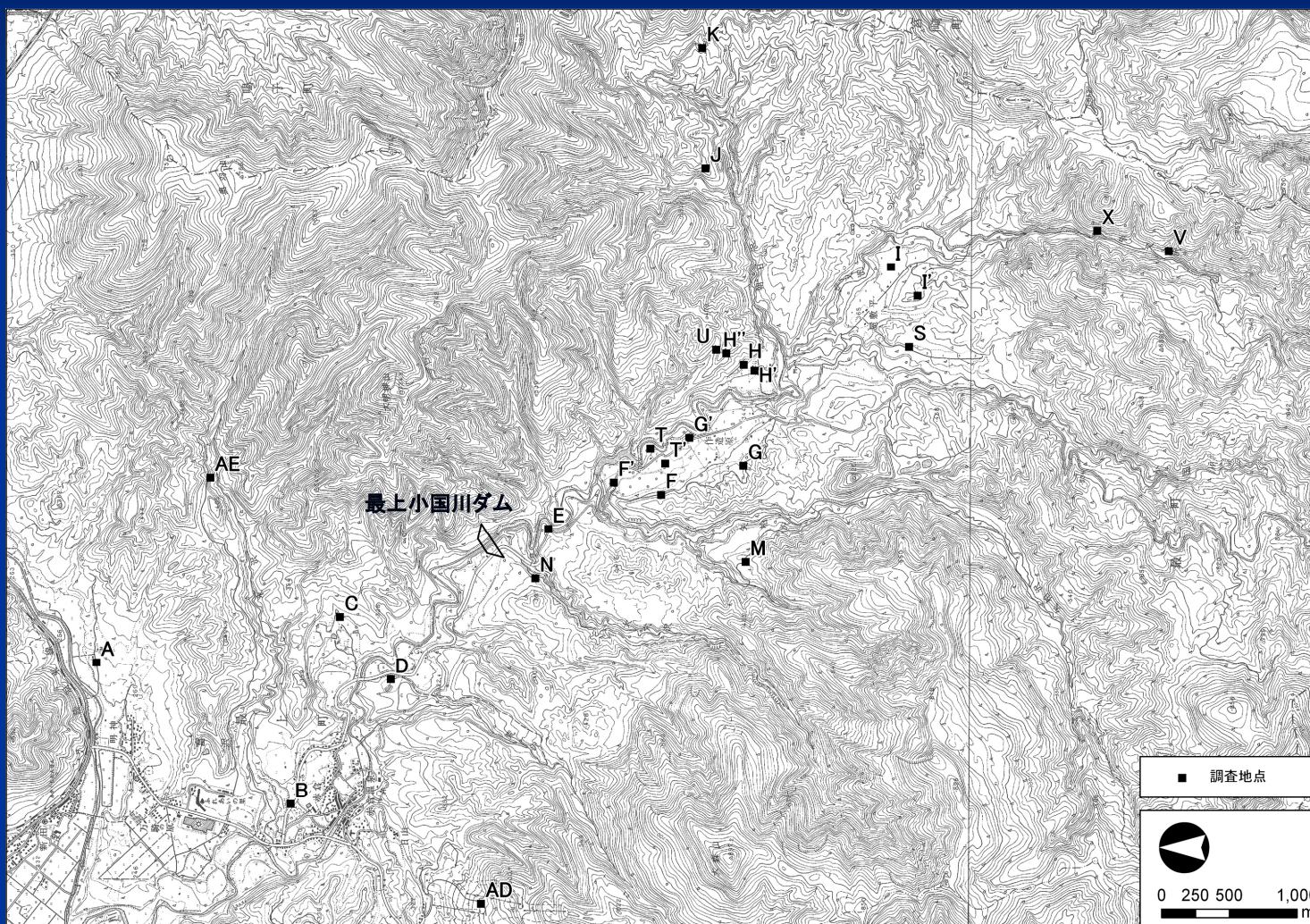
生態系(上位性)

調査計画の概要

平成21年度の調査内容

目的	地点数	調査月	備考
繁殖状況の確認	4定点	5, 6, 7, 9月	調査により繁殖等が確認された場合は、調査頻度等を適宜変更する

調査地点は、これまでの調査結果や繁殖の状況等を踏まえ、
有識者と相談の上決定する



※図中の地点は平成14～20年度における調査地点

今後の環境調査計画 以上